

## 現行ビジョン

### ◆基本理念

本県の地域資源を活かした持続可能で活力に満ちた清流の国

### ◆重点プロジェクトの成果・課題

#### 再生可能エネルギー創出プロジェクト

- ・地域資源（森林、水等）を活かした再生可能エネルギーの創出  
**成果**：地域資源活用への機運が高まり、再エネ創出量が増加。  
**課題**：太陽光が突出しており、引き続き、事業化に向けた支援が必要

#### エネルギー地産地消プロジェクト

- ・再エネの効率的・面的利用による地産地消型エネシステムの構築  
**成果**：八百津町モデルを構築することができた。  
**課題**：モデル事業の更なる推進と他地域への普及が必要。

#### エネルギー使用定着プロジェクト

- ・家庭等での新エネ、創エネ技術等の使用・定着を通じた省エネの推進  
**成果**：県内5圏域に水素ステーションを整備できた。  
**課題**：次世代自動車（特にFCV）の普及が進んでいない。

## 対応の方向性

### ◆社会情勢の変化

- ・2050年カーボンニュートラル宣言  
 ⇒グリーン成長戦略の策定
- ・2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現
- ・再生可能エネルギーの主力電源化
- ・エネルギー供給強靱化法の成立
- ・サプライチェーンの脱炭素化 など

### ◆目指すべき将来の姿

「脱炭素社会ぎふ」の実現  
 エネルギーの安定供給と強靱化  
 エネルギー関連産業の主力産業化

### ◆対応の方向性

- ①再エネ活用や省エネ技術の使用・定着を通じた脱炭素化の促進 **拡充**
- ②脱炭素化につながる水素社会モデル事業の構築支援や普及啓発 **新規**
- ③地域資源を活かした再生可能エネルギーの最大限導入 **拡充**
- ④自立・分散型エネルギーシステムの構築による地域の強靱化 **拡充**
- ⑤カーボンニュートラルに向けた県内エネルギー関連産業の育成 **新規**

## 次期ビジョン

令和7年（2025年）を目標年度とした施策を展開

### ◆基本理念

本県の地域資源を活かした「脱炭素社会ぎふ」の実現

### ◆重点プロジェクト

#### 脱炭素社会促進プロジェクト **拡充**

再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの徹底、電動車の普及拡大などを通じて、家庭や事業所などで効率的・効果的にエネルギーを利活用することにより、脱炭素化を図る。

#### 施策概要

- ①カーボンニュートラルに向けたエネルギー利用効率化の促進
- ②電動車（EV、PHV、FCV）の普及促進
- ③水素社会実現に向けた取組みの推進

#### 成果指標

- ・最終エネルギー消費量 ○%削減
- ・電動車普及台数 ○台

#### エネルギー地産地消プロジェクト **拡充**

地域資源（森林、水、地熱等）を活かした再生可能エネルギーの最大限導入を図る。  
また、災害時にも利活用できる「自立・分散型エネルギーシステム」の構築を支援することで地域の強靱化を図る。

#### 施策概要

- ①地域資源を活用した再生可能エネルギーの最大限導入の促進
- ②自立・分散型エネルギーシステム構築の促進

#### 成果指標

- ・再生可能エネルギー創出量 ○PJ
- ・自立・分散型エネルギーシステム構築数 ○件

#### 産業の脱炭素化プロジェクト **新規**

カーボンニュートラルをビジネスチャンスと捉え、県内産業への技術開発支援や事業転換支援、脱炭素化による企業価値の向上などを通じて産業振興を図る。

#### 施策概要

- ①エネルギー関連産業の技術開発の促進
- ②カーボンニュートラルに向けた事業転換や事業拡大の促進
- ③脱炭素やエネルギーに関する人材育成の推進

#### 成果指標

- ・次世代エネルギー産業創出コンソーシアムによる技術開発助成件数 ○件

※具体的な施策や成果指標については『素案』で整理を行う